



# きくがわ 社協だより

No.87  
2012年  
5月発行

ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に

**特集**

「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。

## 子どもたちとお母さんたちの笑顔のために



4月3日に、小笠児童館・小笠子育て支援センターが開所しました。  
中央公民館敷地内にある深緑色の平屋の建物です。

集会室、遊戯室、図書コーナー、相談室、授乳室などが完備されていて、明るく広いスペース  
で思いっきり遊んでいただけます。

みなさまのご来館をお待ちしています。

社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会  
〒439-0019 静岡県菊川市半済1865(プラザけやき内)

☎(0537)35-3724 Fax(0537)35-3202  
Eメール [info@kiku-syakyou.or.jp](mailto:info@kiku-syakyou.or.jp)

# みんなであそべる子育て —子どもたちの健やかな成長を願って—

きくがわ子育て支援センター「たんぽぽ」、菊川児童館、小笠子育て支援センター「ひまわり」、小笠児童館の職員にお話を聞きました。

## ◆きくがわ子育て支援センター

### 「たんぽぽ」

※『昨年度、印象に残った事業』

**山下・石川** 絵本を常に取り入れたことです。絵本があるだけで子育てができることがわかりました。かしこまって読まなくてもいいんです。お母さんが絵本を持つと、子どもも絵本を見ます。絵本を媒体とした子育てができるんです。

※『現場で聞くお母さんたちの声』

**山下** 成長過程での悩みや不安は常にあるようです。わからないから不安なのだと思います。時が解決することもあるのですが、上手に聞き取ってお母さんと同じ時を体験したいと思っています。今日はこうだね、明日はどうかなと、お母さんの気持ちを受け止めて、一緒に体験していきたいと思っています。そんな中で、ささいなことでも話してもらえようになりたいです。

※『今年度の重点事業』

**山下・石川** 「すくすくひろば」「おしゃべりひろば」「わくわくパーク」です。「すくすく広場」は地域での子育てを目的としています。地域の人が集まれるように、地区センターで開催していま

す。何かの時には地域で助け合えるよう、つながり合えるようにと思っています。



(左)石川久美子さん (右)山下千鶴さん

「おしゃべりひろば」は、空間を提供し、お母さんたちが不安や悩みなどをお互いに話す場です。気軽に「ご参加ください」。「わくわくパーク」では、体を動かします。年8回の内、3回はお父さんと一緒の日です。子育てのコツや、家庭でできる遊びを紹介しています。

※『ここに来るとこんな良いことがあるよ』

**山下** みんなの子育てを、見て、聞いて、触れて、感じられます。一人で家にいるよりも楽になると思います。こうすればよかったのかということがあったり、ヒントを拾えます。室内の限られたスペースなので、いるだけでいろいろな情報が聞こえてきます。悩みはみんな一緒、楽しさも一緒、一人じゃないと思えます。

※『子育て中のお母さんたちへのメッセージ』

**石川** 子育てを楽しんでください。自分が楽しくないと、きっと子どもも楽し

しくないはずです。

**山下** 子育ては一人ではできません。周りを巻き込んでほしいです。おじいちゃんやおばあちゃんや近所の人、猫の手も借りて。それは甘えではありません。頼ることで頼られることにつながります。子育てはつながっています。将来、頼られるために、今は頼ってください。

## ◆菊川児童館

※『昨年度、印象に残った事業』

**増田** 中学生・高校生が遊びに来てくれるようになったことです。5年前までは、小さい子どもが対象となる児童館なので、どうすれば中高生が来てくれるだろうかと考え込んでしまいました。が、その頃に来館していた子どもたちが大きくなって、友だちを連れて来てくれるようになりました。地道な活動が実ったのを感じ、嬉しく思います。

※『現場で聞くお母さんたちの声』

**増田** ご主人が働き盛りで、いちばん二人で子育てしたい時に、家にいないんですよね。土日もお仕事だったり。一人で請け負っているお母さんが多くて、大変だなと感じています。一番いてほしい時にご主人がいない。それが毎日となると、不安や不満が出てくるだろうなと思います。

※『今年度の重点事業』

**森田** 「ウエルカム！児童館」「小学生対象土曜クラブ」です。

初めて来館する人は、とても勇気がいるようです。せっかくなので来てくれても、職

員がゆっくり説明できないこともあります。そこで、ここに来やすくなるように「ウエルカム！児童館」を企画しました。職員が事業内容や利用方法をお伝えします。観光場所やシヨップの紹介もしています。毎月1回、1時間を設けています。

「小学生対象土曜クラブ」は、クッキングや工作など、低学年から高学年まで楽しめる企画を開催します。

※『ここに来るとこんな良いことがあるよ』

**森田** 子育て情報やタウン情報が得られます。情報提供をすることで、お母さんたちが住みやすくなるように支援したいと思っています。それから、ママ友につなげる支援もしていきます。

※『子育て中のお母さんたちへのメッセージ』

**森田** 心にゆとりがなくなったら、職員が癒します。息抜きにも来てね！いつでもウエルカム！

**増田** 子育ては永遠に続くと思っていましたが、本当にあつと言の間です。楽しく過ごしてください。



(左)森田隆子さん (右)増田和子さん (館長)



## ◆小笠子育て支援センター「ひまわり」

※『昨年度、印象に残った事業』

**伊藤** 「いないいないばあ」でしょうか。3ヶ月から1歳の乳児の集まりで、ベビーマッサージやふれあい遊びなどをします。お母さん同士のおしゃべりの時間もあり、気になることや困ったことを話しています。会が終わってからのお話が續いていて、お母さんたちがとても楽しそうです。大勢の参加があり、問い合わせも多いです。

※『現場で聞くお母さんたちの声』

**北原** 以前は相談日を設けていましたが、それでは話しづらく、普通の会話の中の方が話しやすいですね。事務所にいないで、お母さんたちの中に入り、話しかけていくことに努めています。相談を引き出すことができれば、小さなことから大きなことまで、いろいろなことを話してくれます。

※『今年度の重点事業』

**桐岡** 相談事業です。乳幼児のお母さんは、午前中の「いないいないばあ」や「コロコロタイム」でお母さん同士がお話をする  
ことができませんが、もう少し大きくなった子どものお母さんは、みんな話す場がないため、2〜3歳児のお母さんたちが話せる場を



(左)伊藤幸恵さん (中)桐岡薫さん (右)北原由美子さん  
(館長)

つくりします。1回目を5月に開催します。お茶会の雰囲気や気軽に参加してほしいです。相談の場、悩みを打ちあける場を広げたいと考えています。

※『ここに来るとこんな良いことがあるよ』

**桐岡** 大きいお兄ちゃんやお姉ちゃんたちがいる時は、小さい子と遊んでくれることもあります。お母さんも友だち、仲間ができます。

**北原** 家と違って広さがあるので、心にもゆとりが持てます。みんなとおしゃべりもできます。親子で来てくだ

さい。

※『子育て中のお母さんたちへのメッセージ』

**伊藤** 新しく開放的な場所なので、気軽に来てください。元気で明るい職員が待っています。

## ◆小笠児童館

※『昨年度、印象に残った事業』

**桐岡** 夏まつりです。みなさんが待っていてくれる事業で、児童館の移転がありました。民生児童委員さんや中高生や母親クラブさんなど、児童館に関わってくれている方たちの助けを借り、みんなで行う大きな活動です。地域と関われる、そして中高生が小さい子とふれあいながら児童館に関わりを持つてくれる大切な活動です。

※『現場で聞くお母さんたちの声』

**桐岡** 児童館で親子とも友だちができたとか、活動をとおして親子のふれあ

いできてよかったなどの声があります。初めて来館してくれたお母さんには、職員が声をかけています。「誰々さんと同じ地区ですよ。」とか、「同じくらいいの月令ですよ。」などと紹介し、お母さん同士のつながりが持てるようにしています。

※『今年度の重点事業』

**桐岡** 一つは小学生の来館促進です。児童館は活動の時だけでなく、いつでも自由に来れる場だと大勢の子に思っています。活動と自由に遊ぶことがうまく相互作用を持ち、大勢の子の来館につながるのが目標です。そのために、「チャレンジGO!」を年5回計画していて、それに力を入れています。

もう一つは、午後の時間に幼稚園児の事業を実施することです。昨年度とつたアンケートに「幼稚園に入ると児童館が遠くなる。行きにくくなる。」というご意見がありました。そこで、幼稚園児にももっともって来てもらえるように、幼稚園児も参加できる事業を午後にも設けます。少しずつでも広がり、参加してくれる子が増えると嬉しいです。



小笠児童館

※『ここに来るとこんな良いことがあるよ』

**北原** 児童館に来て発散するとスッキリするよ。

**桐岡** 一人でも、お友だちと一緒にでもいいので来てね。いろんな学校、いろんな学年の子がいて一緒に遊べるよ。児童館にはいろいろな遊びがいっぱい

です。

※『子育て中のお母さんたちへのメッセージ』

**北原** 「児童館だより」を見て活動をチェックし、参加してくださいね。

子育て支援センターと児童館に、ふらっと寄ってみてください。明るく元気な職員が、いつでも笑顔でお出迎えます。



菊川児童館



菊川児童館

## 笑顔、輝いてます —第10回—

### 「結んだりぼんの先に」

Q. 「子育てサポートリボン」の活動について教えてください。

A. オレンジ色のエプロン、ポロシャツをトレードマークに、30歳代から60歳代の幅広い年齢層のサポーター20名が、休日を含めほぼ毎日活動しています。

菊川市内を中心に、今では袋井市、掛川市、御前崎市、森町など近隣地からも依頼を受け、幅広く活動しています。

- ・個人及びグループ等の保育サポート
- ・絵本等の読み聞かせ活動（りぼんタイム）
- ・公共機関、企業等からの依頼の保育サポート
- ・子育て支援センターや児童館等の活動支援
- ・学習会、研修、講演会の参加
- ・“すまいるサロン”開催（食育、ヨガ、フラワーアレンジメント等講座）

Q. 活動を始めたきっかけは何ですか？

A. 平成11年度に開催された“菊川市子育てボランティアネットワーク”主催の「子育て支援・託児ボランティア講座」の修了生が中心となり、平成12年4月に発足しました。活動13年目になります。

Q. 活動の中で印象に残っていることや、感じていることは何ですか？

A. 昨年3月5日、下田市社会福祉協議会のお招きで、みなとみらい館にて「リボン設立から今日の活動」と題し、講演をさせていただきました。その後の交流会もたいへん有意義でした。平成18年に菊川に来ていただいたからのご縁で、今も交流が続いています。また、「リボン」に携わってくださった方は、市内に数え切れないほどいらっしゃいます。感謝の気持ちでいっぱいです。

Q. これからの抱負や、みなさんへのメッセージをお聞かせください。

A. 発足当初は何もないところからサポーターがひとつになって、「リボン」の思いや活動を無我夢中で伝え、広めていきました。いろいろな出会いが私たちの活動の原動力です。失敗の連続、壁にぶつかりながらも、みんなで悩み考え、ここまで来たように思います。私たちサポーターも、子育てや孫育ての真っ最中です。子育ては体力、気力。まずは体も心も健康であること。私は何気ない日常が最も幸せだと思っています。熱い思いを今は心の種火として、これからも命を預かる思いで、あったかく、リボンはサポートしていきます。どうぞ声をかけてくださいね。

代表 稲垣はシャイですが、好奇心旺盛で度胸はあります。夫とこの春から大学生になる長女と、高校2年の長男との4人暮らし。これから、息子の野球応援に燃える母です。

#### 「子育てサポートリボン」連絡先

携帯メールアドレス

supportRBN-2000@c.vodafone.ne.jp

携帯電話番号 090-6642-8844

集まる場に出て来られないお母さんや、制度のはざ間の方へのサポートができたらとおっしゃっていた稲垣さん。これからも、「子育てサポートリボン」のみなさんが結んだ「リボン」は、ほどけることなくどんどん長くつながって、リボンの先には子どもたちやお母さんたちの笑顔がたくさんたくさん広がっていくことでしょう。



稲垣清子さん（見晴台）



## 施設や団体の紹介コーナー

# 心身障がい児放課後クラブ「ふれんず つばさ」



「ふれんず つばさ」には、様々な障がいを抱える子どもたちがいます。

障がいは生まれる前からわかっていたり、生まれた時に見つかったり、大きくなっていく過程でわかったりとそれぞれです。

コミュニケーションが上手くとれない子、身体が上手く動かせない子、言葉が発せない子や苦手な子もあります。

障がいを正しく理解し、サポートが必要です。

「ふれんず つばさ」は心身障がい児が、放課後いきいき過ごす場所です。

**対象となる児童** 菊川市在住で特別支援学校、特別支援学級に通われている児童・生徒。

**開設場所** ・プラザけやき南館（菊川会場） ・コロポックル（小笠会場）

**開設日・時間** 平日 14:30～16:50（特別日課13:30～16:50）

長期休暇 9:00～11:30 13:30～16:00

**定員** 一日につき おおむね6名（マンツーマン支援）

### 活動方針

- ・何よりも楽しい居場所であること
- ・児童・生徒や保護者の希望・意思を尊重し対応すること
- ・児童・生徒それぞれの特性や能力に合わせた支援をすること
- ・対人・対社会的な適応力の向上を意図し、個々のコミュニケーション能力を引き出すこと
- ・ここでの生活やあそびをととして、身辺処理を含めた基本的生活習慣の向上を目指して、自立のための支援をしていくこと

### スタッフ

- ・元心身障がい児放課後クラブ職員
- ・特別支援学校勤務経験者
- ・小中学校・幼稚園・保育園勤務経験者
- ・ヘルパー2級取得者

などによりあらゆる側面からサポートしています。

**利用料** 1回につき 500円

### 問合せ・申込先

心身障がい児学童保育サポート つばさの会

☎090-4115-5064

菊川市福祉課 障がい者福祉係

☎37-1252

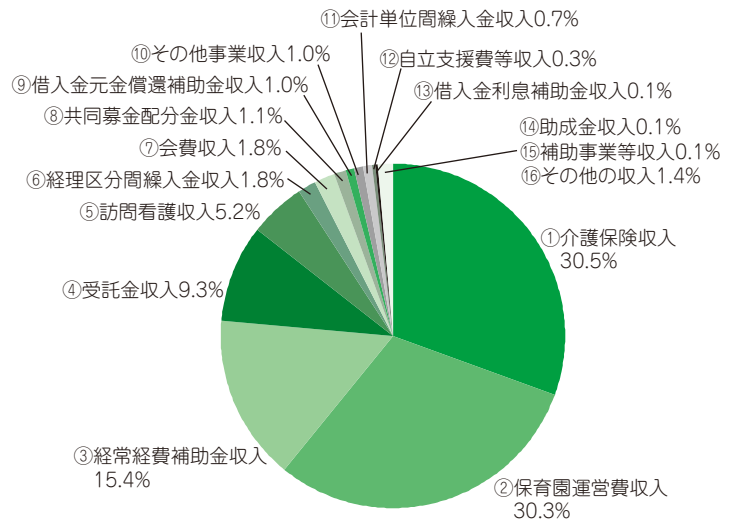


## 平成24年度予算概要のお知らせ

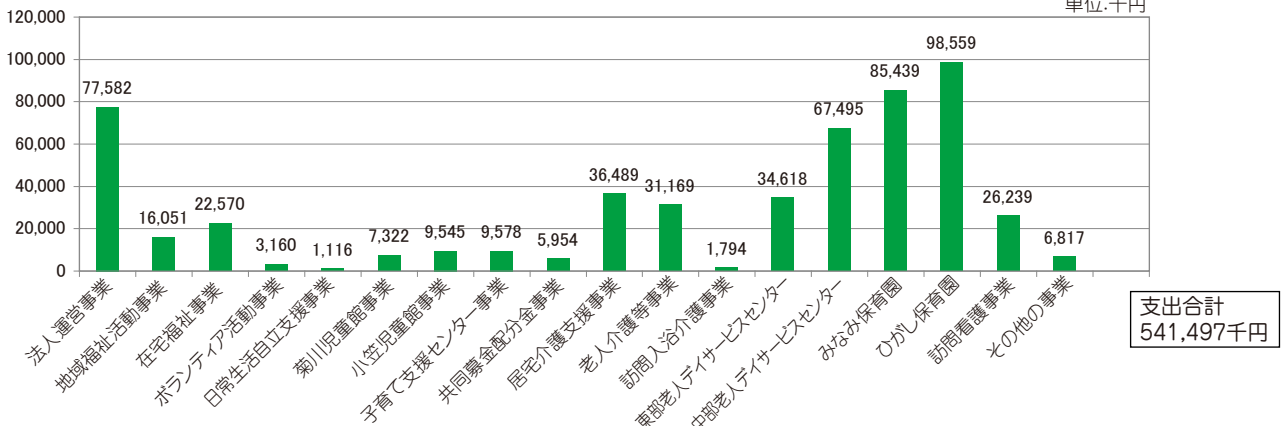
3月に開かれた理事会・評議員会で、平成24年度の菊川市社会福祉協議会予算・事業計画が決定されました。本年度の予算及び事業計画の概要をお知らせいたします。

収入		単位:千円	
項 目	予算額	構成比	
① 介護保険収入	165,320	30.5%	
② 保育園運営費収入	164,444	30.3%	
③ 経常経費補助金収入	83,457	15.4%	
④ 受託金収入	50,612	9.3%	
⑤ 訪問看護収入	28,209	5.2%	
⑥ 経理区分間繰入金収入	9,551	1.8%	
⑦ 会費収入	9,892	1.8%	
⑧ 共同募金配分金収入	5,954	1.1%	
⑨ 借入金元金償還補助金収入	5,500	1.0%	
⑩ その他事業収入	4,014	1.0%	
⑪ 会計単位間繰入金収入	3,914	0.7%	
⑫ 自立支援費等収入	1,816	0.3%	
⑬ 借入金利息補助金収入	651	0.1%	
⑭ 助成金収入	500	0.1%	
⑮ 補助事業等収入	251	0.1%	
⑯ その他の収入	7,786	1.4%	
収入合計	541,871	100.0%	

※構成比については四捨五入をしています。



### 支出(事業別)



## ○平成24年度事業計画

### ◇ 地域福祉事業

- ・ 広報啓発活動
  - 各種広報紙の発行
  - ホームページ、ブログによる情報発信
- ・ 地域福祉活動の推進
  - 地域福祉推進基礎組織育成モデル事業
  - 地区福祉懇談会の開催
  - 地域福祉実現研究会
    - ① 菊川市におけるひきこもり問題支援検討委員会の運営
    - ② 「孤立・無縁」の問題に防災、減災活動を通して取り組む委員会(仮称)の設置
  - 福祉有償運送事業の実施
  - 共同募金配分金事業の実施
    - ① 地域福祉活動支援助成
    - ② 歳末たすけあい募金配分金事業
    - ③ 歳末たすけあい運動助成事業
- ・ 民生委員、児童委員活動への支援
- ・ 相談支援事業の充実
  - 心配ごと相談事業 結婚相談事業 日常生活自立支援事業
  - 生活福祉資金の貸付事務
- ・ 当事者団体活動の支援
  - 福祉団体の育成指導、自主的活動の支援
    - 菊川市老人クラブ連合会 菊川市身体障害者福祉会
    - 菊川市母子寡婦福祉会 菊川市手をつなぐ育成会 菊川市遺族会
- ・ ボランティア、市民活動の拡大
  - ① プラザけやき「ボランティアセンター」の運営
  - ② メール配信システムの導入
  - ③ 福祉有償運送運転者、セダン等運転者講習会
  - ④ 傾聴力養成講座
  - ⑤ 精神障がい者組織化支援、交流事業
  - ⑥ 精神障がい理解普及啓発交流事業 ふれあい企画

### ◇ 在宅福祉事業

- ・ 機能訓練事業
- ・ 一般高齢者通所事業(いきいきサロン)
- ・ 移送サービス事業
- ・ 配食サービス事業
- ・ 生活管理指導員派遣事業

### ◇ 児童館・子育て支援センター事業

- ・ 菊川児童館
- ・ 小笠児童館
- ・ きくがわ子育て支援センター事業
- ・ おがさ子育て支援センター事業

### ◇ 介護保険・障害者福祉事業

- ・ きくがわ居宅介護支援事業所
- ・ きくがわヘルパーステーション
- ・ きくがわ訪問入浴ヘルパーステーション
- ・ 中部デイサービスセンター
- ・ 東部デイサービスセンター ぎおんの里
- ・ きくがわ訪問看護ステーション
- ・ 社協 きくがわ支援事業所

### ◇ 保育園事業

- ・ ひがし保育園
- ・ みなみ保育園

※事業については抜粋して掲載しております。

問合せ 総務経理係 (TEL35-3724)

# ボランティアの広場

## ボランティアの輪・和・話(三つのわ)



### 「水掛けボランティア」

精神に障がいをお持ちの方と高校生ボランティアとで作った、菊川インターの花壇に水掛けをしています。季節により水掛け回数は変わりますが、夏場はローテーションを組み、ほぼ毎日水掛けを行いました。

水場が少し離れた場所にあるので、ポリタンクに水を入れて運ぶことから始まります。それが大変ではありますが、水を掛けてあげると花が元気になる、きれいになる。それが張り合いです。また仲間とおしゃべりしながらの水掛けが楽しいです。

これから夏に向け、水掛け回数も増えていきますので仲間を募集中。お花が好きな方、園芸が好きな方、そして力持ちの方(お水を運ぶ時に

大活躍)一緒に水掛けをして、きれいなお花に心を癒しませんか?

申込・問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385

## 「ボランティア体験講座～出前編～」

ボランティアの活動を身近なところで体験し、菊川市内でも様々なボランティア活動が行われていることを知る。

開催期間 平成25年3月まで

対象 子どもや大人の集まり

(自治会、コミ協、団体、子ども会、ボランティアクラブなど)

(基本1回2時間。2時間を1時間とすることは可能)

開催費用 無料

内容 講話

ボランティア活動体験(点訳、要約筆記、音訳、手話、視覚障がい者サポート、車いすサポート、等)

開催時間 1回2時間(単発講座)

原則平日午前9時30分から午後5時の間、ただし講師との調整が可能であれば、夜間休日の対応も可能

会場 地区センター、自治会公会堂など(依頼元で御手配願います)

申込・問合せ先 菊川市社会福祉協議会ボランティアセンター(野崎)

☎35-6385 FAX35-3202

## ボランティアミニ知識～ボランティアの原則：自発性(自由意志・主体性)～

ボランティアは個人の自由意志に基づいて行われる活動です。他から強制されたり、義務として押し付けられたりするものではありません。「ほうってはおけない」「よし、やろう!」「なんとかしなくては…」そんな自分の中から湧き上がる思いから始まる活動です。

## 求むボランティアさん

問合わせ先

ボランティアセンター

☎35-6385

～あなたの趣味・得技・技術を活かして～

### 女性の美を追求①“アクセサリづくり”の好きな方

活動内容 社会福祉施設や障がい者の方が集まる機会に、作り方を伝えながら一緒に作る活動です。

### 女性の美を追求②“メイクアップ”が得意な方

活動内容 社会福祉施設を利用されている方に、メイクアップをしてきれいになっていただく活動です。

### 工作・手芸など物作りの好きな方

活動内容 高齢者や障がい者の方が集まる機会に、作り方を伝えながら一緒に作る活動です。

活動日時 依頼のあった時に

活動場所 社会福祉施設など



## ご利用ください～菊川市社会福祉協議会ボランティアセンター土日開所～

6月のボランティアセンター土日開所日は、9日(土)、17日(日)です。



# 参加者募集 各種事業

## 精神障がい理解普及啓発交流事業

### ふれあい企画～心と花を育てよう Part4～

交流することを通して、障がいについて理解をしたり、仲間をつくるステキなきっかけ作りをしてみませんか？

当日は精神障がいをお持ちの方と一緒に、菊川インター花壇の「花植え」やカレーライス・フルーツポンチづくりに挑戦します。

主 催	特定非営利活動法人Mネット東遠、社会福祉法人菊川市社会福祉協議会
協 力	菊川市、菊川市花の会、あしたばの会、NEXCO中日本
日 時	平成24年6月3日（日）9：00～12：30
会 場	プラザけやき201会議室 他
内 容	精神障がいやボランティアについてのお話し 交流(花植え、カレーライス・フルーツポンチづくり)
対 象 者	中高大学生
参 加 費	無料
定 員	20名（先着順）
申 込 締 切	5月31日(木) ※ただし定員になり次第締め切り
申込・問合せ先	菊川市社会福祉協議会ボランティアセンター（野崎） ☎35-6385 FAX35-3202

## ボランティアバスパック3 報告会

障がい当事者のみなさんが、3月に岩手県宮古市へ行き、宮古市の障がい当事者のみなさんと災害に関する情報交換をしました。その際の報告をします。

日 時	平成24年6月16日（土）13：30～15：00
場 所	プラザけやき201会議室
対 象 者	どなたでも参加できます。みなさまのご参加をお待ちしています。
申込・問合せ先	菊川市社会福祉協議会 地域福祉係（石川） ☎35-3724

会場準備のため事前にお申し込みください。  
当日参加もできます。

## ガイドヘルパー研修会

### 視覚障がい者の移動介助について学びましょう

日 時	①平成24年6月16日（土）9：00～12：00 ②平成24年6月23日（土）9：00～12：00
場 所	菊川市総合保健福祉センター プラザけやき201会議室
内 容	①講義「移動介助の基礎知識」 演習「移動介助の基本技術」 ②講話「視覚障がいについて」 演習「ガイドをする」 視覚障がい者部員との情報交換・意見交換
講 師	①身体障害者支援施設 光陽荘 介護部長 伊東眞由美 氏 ②菊川市身体障害者福祉会 視覚障がい者部
対 象 者	菊川市登録ガイドヘルパー、菊川市在住のヘルパー2級以上有資格者
定 員	30名
参 加 費	無料
申 込 締 切	6月5日（火）
申込・問合せ先	菊川市社会福祉協議会 地域福祉係（石川） ☎35-3724



## 相談窓口

### 福祉総合相談

日時 月～金曜日  
8：15～17：00  
会場 プラザけやき

### 心配ごと相談

日時 6月 1日（金）9：00～12：00  
6月15日（金）13：00～16：00  
会場 プラザけやき  
日時 6月 5日（火）13：00～16：00  
6月20日（水）9：00～12：00  
会場 菊川市役所 小笠支所

### 結婚相談

日時 6月 7日（木）18：00～21：00  
（受付20：00まで）  
6月17日（日）9：00～12：00  
（受付11：00まで）  
会場 プラザけやき  
※初めての方は写真と印鑑をご持参ください。